

オンラインでIoT導入講習会を開催

＜工場にワイヤレスIoTを導入するため必要な知識を習得＞

総務省東海総合通信局(局長 長塩 義樹)は、令和3年1月20日(水)静岡県浜松地域を対象に、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰 名古屋工業大学名誉教授)との共催により、「工場向けワイヤレスIoT講習会in浜松」をオンラインで開催し、ワイヤレスIoTの導入・管理に関わる方や工場関係者など18名が参加しました。

近年、製造業の分野では、労働人口の減少や熟練工の不足、多品種少量生産の拡大などに対応するため、IoT機器の導入が進められています。IoT機器の中でも工場内に新たに配線を必要としない無線通信(ワイヤレス)を使用したIoT機器は、電波の混信や障害が原因で機械設備が制御不能になることやデータに欠損が生じるなど思わぬトラブルが発生する可能性もあるため、適正な取扱い方法を理解する必要があります。

講習会では、無線通信の基礎知識や工場における無線通信の特徴、現場での電波環境の確認手法、ワイヤレスIoTの導入手順などのWEBテキストによる事前学習と講師が実機を用いた実演を映像により視聴するWEB講習により実施しました。

WEB講習では、スペクトラムアナライザを使用して、無線LAN機器やワイヤレスカメラなどが発射する電波の基本的な特性・特徴を視覚的に確認。工場でも多く利用されている920MHz帯IoT機器の導入事例の紹介。新型コロナウイルス対策として、LPWAを活用した温湿度管理センサによる室内換気システムの構築例など工場内における電波利用とその適正な取扱いについて受講していただきました。また、将来技術として工場内への導入が想定されるローカル5Gの最新動向が紹介されました。

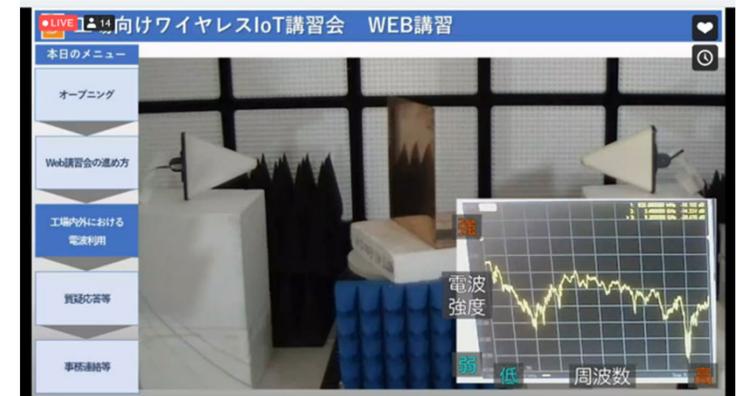
参加者からは、「自社のIoT導入に向けたシミュレーションをする動機づけとなった。」「実務において発生する問題への対応例を学びたい。」などの感想が聞かれました。

東海総合通信局では、今後もワイヤレスIoTの導入を支援する講習会や体験型セミナーなどを開催し、IoT時代に必要な人材を育成していきます。

お問い合わせ先: 情報通信部情報通信連携推進課 052-971-9313



オンライン講習会の模様



電波測定実習の模様